

施設見学

次の各施設をご覧くださいことができます。

≡ 美術工芸資料館

下記の展覧会を開催しております。ぜひご覧ください。

時間 | 9:30 - 17:00 (受付は16:30まで)

入場 | 無料

近代デザインの誕生 - 京都工芸繊維大学美術工芸資料館名品展 -

「デザイン」という語は、現在では幅広い意味で用いられています。意味の拡大は20世紀後半以降、急速に進みました。デザインをテーマにした展覧会も最近では頻繁におこなわれるようになっていきます。いまやデザインは巷に溢れていると言ってもよいでしょう。そのデザインという考え方が日本にはいつてくるのが19世紀末、そして、当時のデザイン教育の場のひとつが、京都工芸繊維大学の前身校である京都高等工芸学校でした。

京都工芸繊維大学美術工芸資料館が収蔵する作品の中核をなすのは、1902年の京都高等工芸学校開校時から教材として収集・購入された美術工芸品です。初代の教員である浅井忠や武田五一は、19世紀末から20世紀初頭のヨーロッパで、教材のためにポスターや工芸品を積極的に買い求めました。そのほかにも、ひろく欧米各国から最新流行のデザイン資料を取り寄せます。それらは、デザインという考え方が日本に入ってきた時期に、日本で最初期のデザイン教育に使用された実物資料であり、いまや貴重な美術品となっています。

今回の展覧会「近代デザインの誕生 - 京都工芸繊維大学美術工芸資料館名品展 -」では、美術工芸資料館の収蔵資料のなかから、日本におけるデザイン黎明期に参考資料、教材として収集され、実際に実習等で活用された資料類を展示します。これらの資料類を手がかりにして、19世紀末から20世紀初頭にかけての日本で、デザインがどのように教育され、どのような展開をみせたのかをご覧くださいと思います。

また、2階の第3、第4展示室では、美術工芸資料館の国際交流事業の一環として、日本ポーランド国交樹立100周年記念関連企画「ポーランドポスター展」を開催いたします。

≡ 情報科学センター

本学の教育研究をサポートする最先端のコンピュータシステムをご覧ください。

時間 | 9:30 - 17:00

≡ ものづくり教育研究センター

各種工作機械・設備を集中管理し、共同利用施設として本学の教育及び研究を加工・工作機能の面から支援するとともに、学内外の教育・研究者、技術者との連携を図っています。先端工作機械の数々をご覧ください。

時間 | 10:30 - 13:30、14:30 - 16:30

≡ 附属図書館

入学後に学習や研究を進めていくための空間を体験し、蔵書の数々を手にとってみてください。また、大学の教育・研究の歴史を辿ることができる資料類の展示を行っていますのでご覧ください。館内は休憩場所としてもご利用いただけます。

時間 | 9:30 - 17:00

アフリカを体験しよう!

図書館1階にあるグローバル commons は、「多言語・多文化」がコンセプトの学びのエリアです。現在アフリカンフェアを開催中です。アフリカの衣装、言葉を知って、アフリカの人と話してみませんか?

時間 | 12:00 - 17:00

場所 | 図書館1階 谷川俊太郎ラジオコレクションの部屋